最新情報

G Suite

2017 年 4 月

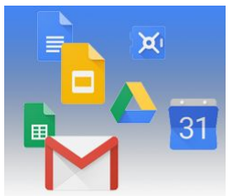
注目のリリース: メールログ検索機能の向上

メールログ検索機能の向上により、業務がさらに円滑に

- 「件名」でメールを検索
- メールログにメールポリシーへのリンクを表示

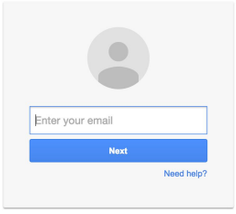
場所を選ばず作業

Google Cloud Search の iOS アプリの提供を開始



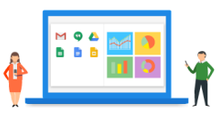
シンプルな使い勝手

Google+ の「おすすめのトピック」で気になる投稿を見つける



ビジネス対応

新しい Google サイトでロゴや調和のとれた色などによるカスタマイズが可能に
組織での Google+ の利用状況が確認可能に（使用状況を示す新しい指標をサポート）
管理コンソールの変更のお知らせ: 常に最新のデータを表示可能に
ウェブ上のドキュメント エディタのファイルへのオフライン アクセスに対する管理機能の強化



G Suite についてのその他のお知らせ

G Suite の Transformation Gallery を使用して職場を変革する
YouTube の G Suite Show
Google Cloud Connect（GCC）: G Suite 管理者のコミュニティ
G Suite 管理者向けの最新情報の動画

より良いニュースレターをお届けできるよう、ご意見をお聞かせください。

- G Suite チーム、2017 年 5 月 1 日

注目のリリース: メールログ検索機能の向上

メールログ検索機能の向上により、業務がさらに円滑に

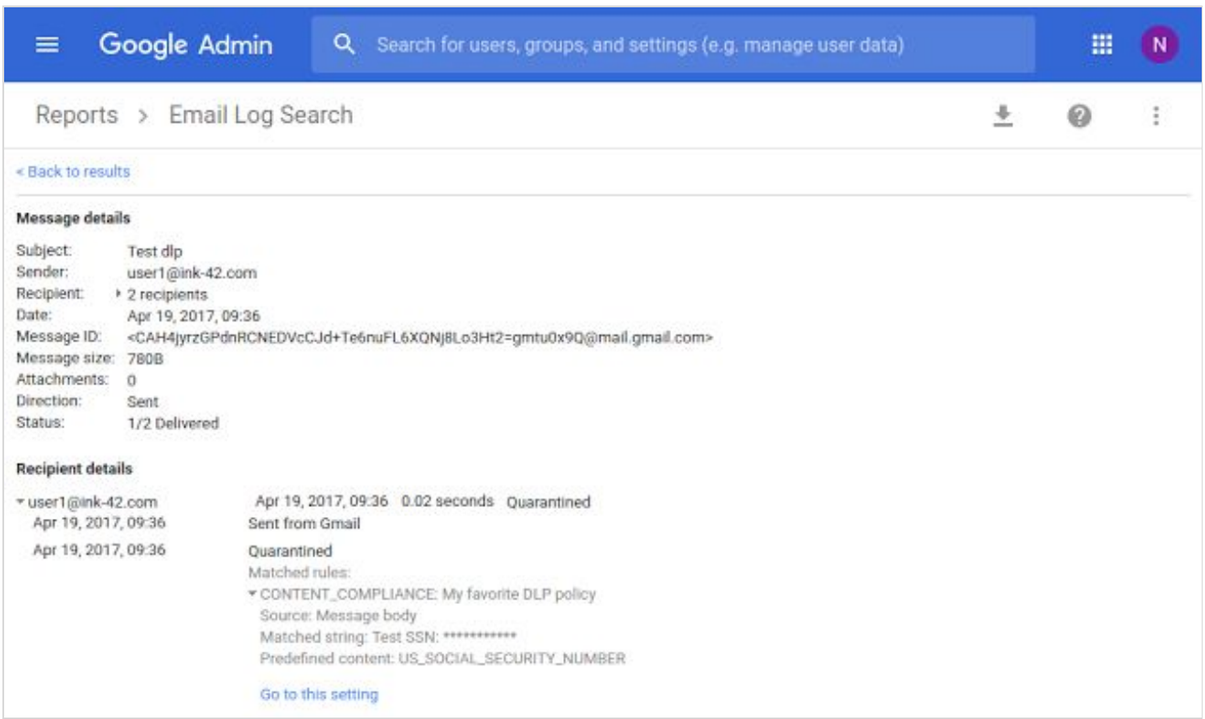
リリース日: 2017 年 4 月 24 日　　管理者向けの機能　　- トップへ戻る -

最新情報: 昨年 12 月に、Gmail の管理者がユーザーをよりスムーズにサポートできるよう、トラブルシューティング ツールの改良が行われました。これに続き、4 月にはメールログ検索ツールの機能にも改良が加えられました。

「件名」でメールを検索
トラブルシューティングを目的として特定のメールを探すには、メッセージ ID を使うのが便利ですが、ユーザーが必ずしもこの情報を提供できるとは限りません。そこでこのたび、メールの管理者は件名を条件にメールを検索できるようになりました。これにより、ユーザーのトラブルシューティングに要する時間を短縮できます。

メールログにメールポリシーへのリンクを表示
該当するポリシーへのリンクをクリックして、どのメールポリシーによってどの操作が行われたかを確認したり、ポリシーを変更したりできるようになりました。

メールログには、ドメイン内のメールの配信状況が記録されています。宛先に到達しなかったメールや、メール転送ルールが適用されたメールについては、配信ステータスを見るとその理由を確認できます（例: メールが迷惑メールとして検疫された、配信できなかったため返送された）。



メールログ検索についてフィードバックをお寄せくださったメール管理者の皆様にお礼を申し上げます。

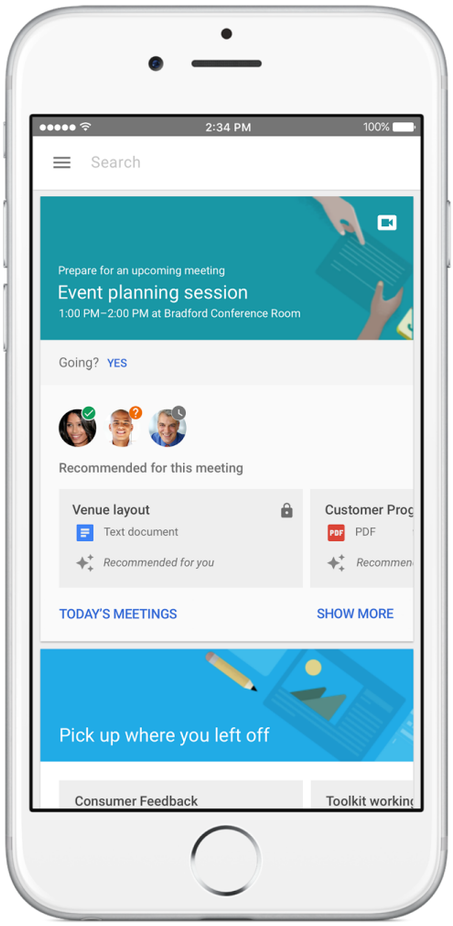
メールログ検索について詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

場所を選ばず作業

Google Cloud Search の iOS アプリの提供を開始

リリース日: 2017 年 4 月 11 日　　組織で共有　　- トップへ戻る -

最新情報: 今年 2 月に、人工知能を活用して G Suite 全体の横断的な検索を可能にする新サービス、Google Cloud Search をご紹介しました。Cloud Search はすでにウェブおよび Android アプリでご利用いただいておりますが、このたび iOS 端末でもご利用いただけるようになりました。App Store から Cloud Search iOS アプリをダウンロードしていただくと、iPhone や iPad から直接 G Suite の各アプリケーションを横断的に検索できるようになります。



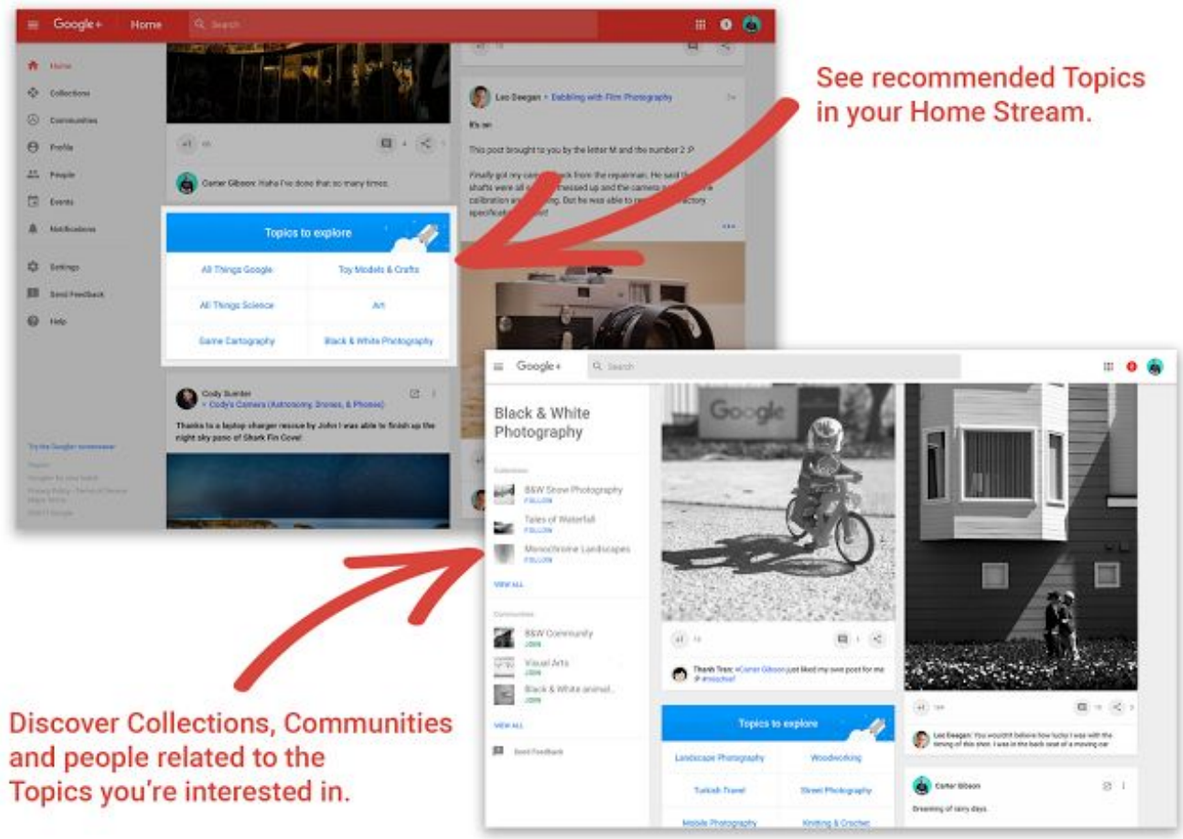
詳しくは、次のヘルプセンターをご覧ください。 Cloud Search 管理者ヘルプセンター | Cloud Search ユーザー ヘルプセンター

シンプルな使い勝手

Google+ の「おすすめのトピック」で気になる投稿を見つける

リリース日: 2017 年 4 月 27 日　　組織で共有　　- トップへ戻る -

最新情報: 数百万人ものユーザーが、Google+ を使ってそれぞれの関心のある事柄について情報交換をしています。そこで、ユーザーが共有している膨大な数のコレクションやコミュニティの中から気になる投稿を見つけられるように、「おすすめのトピック」という新機能が追加されました。[おすすめのトピック] には、ユーザーが関心を持っていると思われる事柄に関連するコレクション、コミュニティ、ユーザーのストリームが表示されます。



すでに、モノクロ写真やハイキングとキャンプなど、多岐にわたる数百ものおすすめのトピックを、英語、スペイン語、ポルトガル語でご提供しています。木工、ガーデニング、ストリート写真など、興味をお持ちになったあらゆる事柄に関連するユニークな投稿のストリームをご覧いただけます。

おすすめのトピックは、ホーム ストリームの [おすすめのトピック] カードからご覧いただけます。

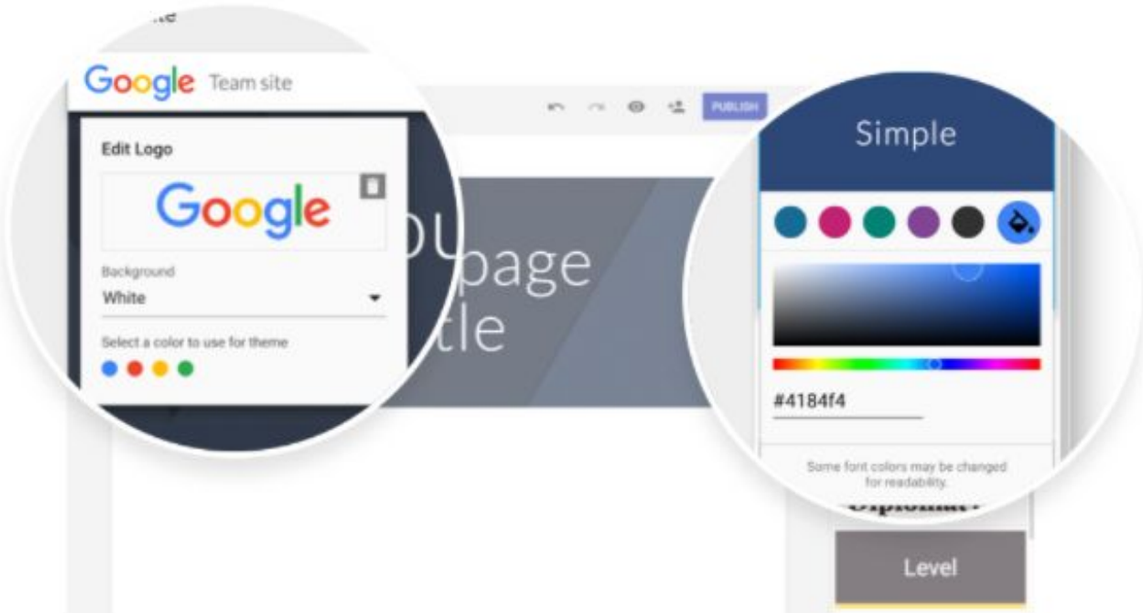
詳しくは、Google+ Keyword ブログの投稿（英語）をご覧ください。

ビジネス対応

新しい Google サイトでロゴや調和のとれた色などによるカスタマイズが可能に

リリース日: 2017 年 4 月 18 日　　組織で共有　　- トップへ戻る -

最新情報: 2016 年 11 月のリリース以来、Google では新しい Google サイトに、チームドライブのサポート、セクション区切り、サブページの作成機能など、さまざまな機能を追加してまいりました。このたびは、サイトにロゴを追加し、そのロゴに含まれる色を使用してサイトをさらにカスタマイズできるようになりました。お好きなロゴを追加するだけで、ロゴに含まれる色が自動的に検出され、それらの色をテーマでご使用いただけます。企業のユーザーからご要望の多かったこの新機能を使うことで、ビジネス向けの本格的なサイトを作成できるようになります。



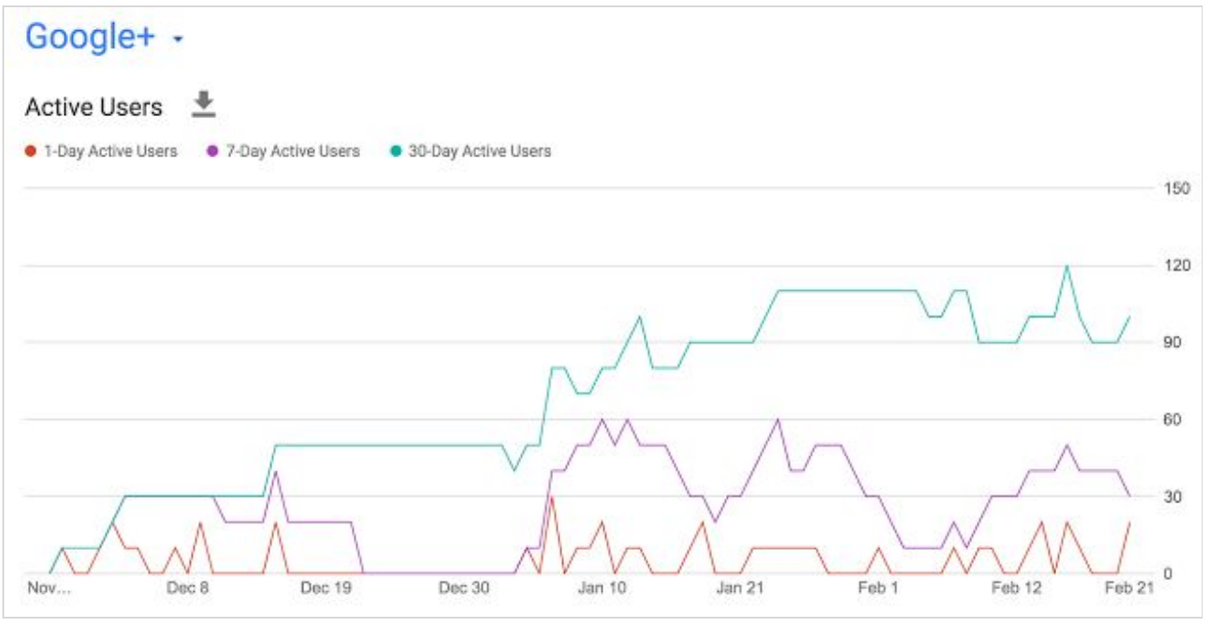
カスタムロゴやカスタム色について詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

組織での Google+ の利用状況が確認可能に（管理コンソールと Reporting API で使用状況を示す新しい指標をサポート）

リリース日: 2017 年 4 月 18 日　　管理者向けの機能　　- トップへ戻る -

最新情報: Google+ がお客様から支持されている大きな理由の 1 つが、社員同士のコミュニケーションや連携を可能とする機能にあります。社内の連携が強化されると、社員の定着率や改革意識が高まり、生産性の向上につながります。昨年 9 月に Google+ が G Suite のコアサービスに加わったことをお知らせして以来、組織内での Google+ の利用状況ややり取りに関するレポート機能の充実を希望される声が寄せられています。そこで、まず管理コンソールと Reporting API に、企業向けの Google+ の使用状況のレポート機能を新しく追加することになりました。この変更により、以下の統計情報をご覧いただけるようになります。

- 過去 1 日間の Google+ のアクティブ ユーザー
- 過去 7 日間の Google+ のアクティブ ユーザー
- 過去 30 日間の Google+ のアクティブ ユーザー
- 新しいユーザーの数
- 新しい投稿の数
- 新しいコメントの数
- 新しい +1 の数
- 閲覧された投稿の数
- 再共有された投稿の数



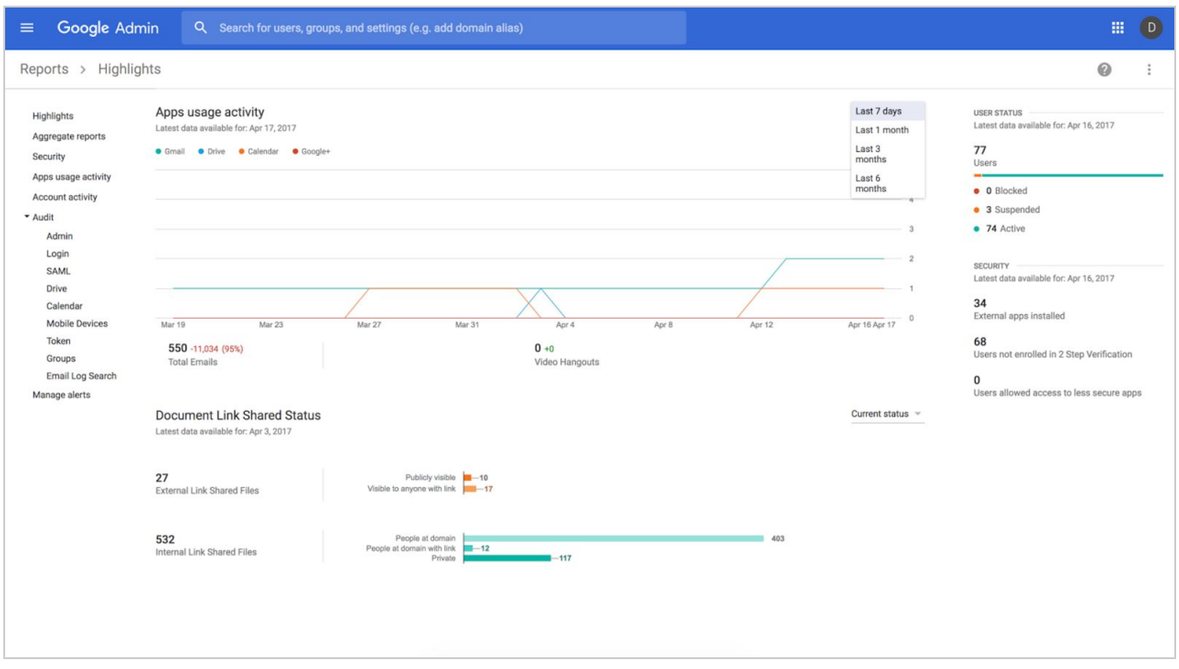
今回リリースする Google+ の企業向けのレポート指標に続いて、年内にユーザー単位のレポート機能など、さらなる改善を行う予定です。実際にお使いになったご感想やご要望を、管理コンソールの [フィードバック] からぜひお聞かせください。

集計レポートについて詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

管理コンソールの変更のお知らせ: 「日付選択ツール」がなくなり常に最新のデータを表示可能に

リリース日: 2017 年 4 月 18 日　　管理者向けの機能　　- トップへ戻る -

最新情報: 今回のリリースでは、**ハイライト**、**集計レポート**、**セキュリティ**の各レポートのデフォルトの動作が変更され、各データソースで取得可能な最新の指標が常に表示されるようになりました。これまでは、レポートの情報が最初に完全に揃った過去のデフォルトの日付を基準にレポートがフィルタリングされていたため、より新しい情報が存在する場合でも古い指標が表示されることがありました。今後は日付選択ツールがなくなり、取得可能な最新の指標が常に表示されるようになります。指標が古くなっている場合には、そのことがわかるように示されます。



利点:

- [**ハイライト**] では、各指標の最新のデータを閲覧できるようになりました。
- [**アプリの使用状況**]、[**ドキュメントのリンク共有ステータス**]、[**ユーザー ステータス**]、[**保存容量**]、[**セキュリティ レポート**] で指標にカーソルを合わせると、該当する指標に [利用できる最新データ] が表示されるようになりました。
- 各項目の古い指標値の横に「*」記号が表示される場合があります。これは、同じ項目の他の指標と比べて、データが古くなっている可能性があることを意味します。

よくある質問:

- **この変更による Reporting API への影響はありますか？**
  いいえ。この変更による Reporting API への影響はありません。今後 API に変更が生じる場合にはお知らせします。
- **「日付選択ツール」が削除されると、ハイライト レポートで「過去 1 か月間」の結果を確認できなくなりますか？**
  いいえ。「過去 7 日間」、「過去 1 か月間」、「過去 6 か月間」の結果を表示するためのプルダウン（スクリーンショット参照）は、これまでどおりご使用いただけます。これまで、Google ドキュメントのレポートのデータには 3 営業日以上の遅れが生じることがよくありました。そのため、多くのユーザーの混乱を招いたほか、日付選択ツールを使用しても、その時点で利用可能なデータまでしか表示されないという点がわかりにくかったために、誤ったデータ管理をされているケースが見受けられました。新しいレポートの見出しには、「利用できる最新データ」と明記され、実際に取得可能なデータが正確に示されます。管理者は、Reports API を使用すると、特定の期間の過去のデータをいつでも検索できます。

注: このリリースは段階的に導入されているため、5 月半ばまでは一部の G Suite のお客様に表示されない可能性があります。

詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。

ウェブ上の Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドのファイルへのオフライン アクセスに対する管理機能の強化

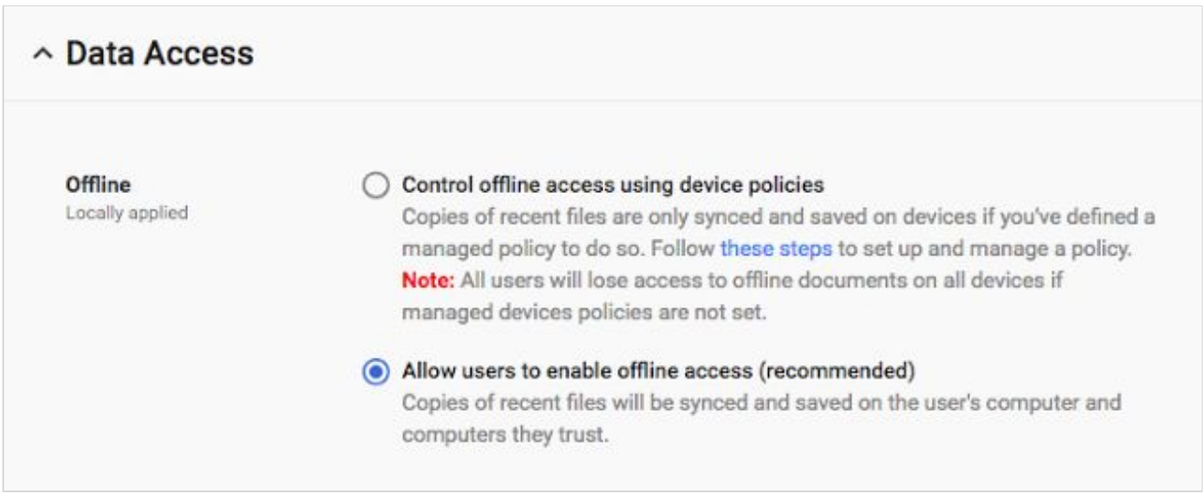
リリース日: 2017 年 4 月 24 日　　管理者向けの機能　　- トップへ戻る -

最新情報: 独自の機密データを保護することと、インターネット接続の有無にかかわらず従業員がいつでもどこでも仕事を進めることができるようすることは、どちらも多くの G Suite 管理者にとって最優先事項です。この課題を簡単に両立できるようにするために、このたびのリリースでは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドのファイルへのユーザーによるオフライン アクセスを管理コンソールで管理する設定が導入されました。

今後管理者は、管理コンソールの [**アプリ**] > [**G Suite**] > [**ドライブとドキュメント**] > [**データアクセス**] のオプションを使用して、デスクトップ パソコンのオフライン アクセスを制御できるようになります。

1. **端末ポリシーを使用してオフライン アクセスを管理する** - このオプションをオンにすると、ユーザーによるオフライン アクセスを管理するために追加の手順を踏む必要があります。その際、次の点にご留意ください。
   a. オフライン アクセスを有効にしたくないユーザーがいる場合は、このオプションをオンにして、管理対象パソコンに端末ポリシーを実装する追加の手順を踏まないようにします。
   b. 以前に組織でオフライン アクセスが有効になっていて、このオプションをオンにすると、管理者が追加の手順を踏んで管理対象パソコンに端末ポリシーを実装するまで、ユーザーはオフライン アクセスができなくなります。

2. **オフラインでの使用をユーザーに許可する（推奨）** - このオプションをオンにすると、エンドユーザーはドライブとドキュメントの設定から手動でオフライン アクセスを有効にできるようになります。設定を行う前に、そのパソコンが信頼できるかどうか確認するメッセージと、公共または共有の端末でこの設定をオンにしないよう求める警告メッセージがユーザーに表示されます。



オフライン アクセスがすべてまたは特定のパソコンで有効になると、それらのパソコンで最近使用した Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドのファイルが自動的に端末に同期され、オフラインで利用できるようになります。これで、ドキュメント、スプレッドシート、スライドのユーザー エクスペリエンスが向上し、従業員はインターネット接続を十分に利用できなくても作業を中断することなく続けられます。なお、これらの設定は、ドライブ内のドキュメント、スプレッドシート、スライド以外のファイルには適用されません。

以前、ユーザーにオフライン ドキュメントを許可していた場合は、新しい設定がリリースされると、上記の 2 番目の設定（[オフラインでの使用をユーザーに許可する（推奨）]）がオンになり、ユーザーはオフライン アクセスを利用し続けることができます。

以前、ユーザーにオフライン ドキュメントを許可していなかった場合は、新しい設定がリリースされると、上記の最初の設定（[端末ポリシーを使用してオフライン アクセスを管理する]）がオンになり、管理者がオフライン アクセスを有効に設定するまで、ユーザーはオフライン アクセスを利用できません。

なお、これらの設定が適用されるのは、デスクトップ パソコンの Chrome ブラウザでドキュメント、スプレッドシート、スライドにアクセスする場合のみです。これらの設定は、Android 搭載端末や iOS 端末との自動同期や Mac / Windows 版 Google ドライブによって同期されるファイルには影響しません。

ドキュメント、スプレッドシート、スライドへのオフライン アクセスを有効にする*方法について詳しくは、ヘルプセンターをご覧ください。*

G Suite についてのその他のお知らせ

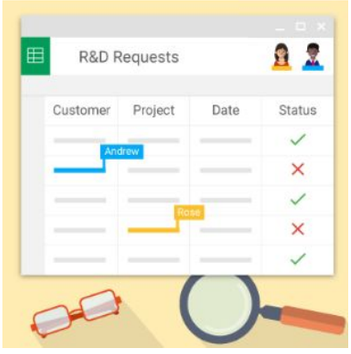
G Suite の Transformation Gallery

組織で共有

- トップへ戻る -

G Suite を使用して職場を変革する例

お客様は仕事をより効率よく、より協力し合って遂行するために、さまざまな方法で G Suite を活用されています。従来のプロセスを見直して「どのようにすれば、この仕事をより短い時間で効率よく遂行できるか」を考えることにより、 たとえばフォームとサイトを利用した研究開発リクエストの管理（英語）や Apps Script とドライブを使用した災害時や緊急時のドキュメント管理（英語）など、さまざまな職場に合ったソリューションを得ることができます。



Transformation Gallery（英語）をぜひブックマークにご登録いただき、さまざまな活用事例をご確認ください。

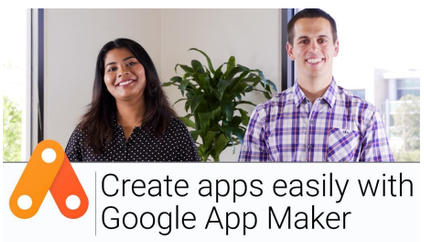
G Suite Show を YouTube で毎週火曜日午前 11 時（米国太平洋標準時）に公開

組織で共有

- トップへ戻る -

2 人の新司会者を迎えて新しいシーズンが開始

最初のエピソードでは、ハングアウトの新しいサービス、Meet を取り上げました。このエピソードでは、Jenny が Lily とともに G Suite Business と G Suite Enterprise ユーザーに向けて新しいハングアウトと従来のハングアウトの機能の違いについて説明しました。ユーザーがビデオチャット経由で会議に参加できないときには、電話で参加できる便利な機能もあります。また、Meet アプリを使用すれば、あらゆる会議に 2 回のクリックだけで参加できます。

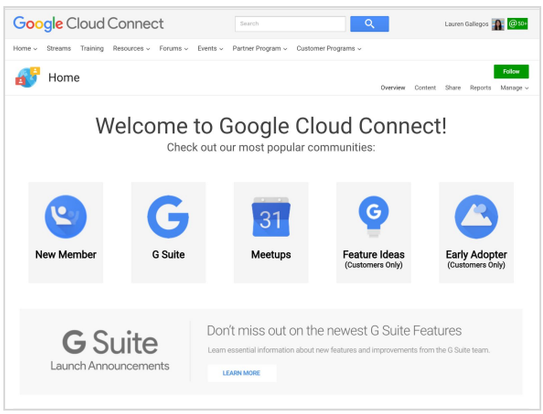


Jimmy と新しい司会者の Riya は、Transformation Gallery のもう 1 つの活用事例をご紹介しました。このエピソードでは、紛失の可能性がある紙文書や静的ファイルを使用せずに、フォーム、サイト、スプレッドシートを使用して、リアルタイムでチームの製造日報を更新する方法について説明しました。これは、工場の製造ラインの作業者やバグに対処するエンジニアなど、あらゆるチームにとって有益な方法です。

最後のエピソードでは、App Maker をご紹介しました。App Maker はプログラミングの高いスキルがなくてもアプリケーションを開発することができるツールで、これを使えば、組織のニーズに合うカスタムアプリを短期間で作成、導入できます。G Suite Show に新しく参加した Kevin は、一緒に働くすべてのチームを把握したいと考えています。そこで、彼は App Maker を使用して、これらのチームを整理するアプリを開発しました。

Google Cloud Connect（GCC）: G Suite 管理者のための公式コミュニティ

管理者向けリソース - トップへ戻る -



今すぐログイン: Google Cloud Connect（GCC）（旧 Google for Work Connect）には、G Suite で仕事をより進めやすくするためのあらゆるリソースが揃っています。今すぐログインし、おすすめの G Suite 使用法についてのディスカッションや質疑応答を通して、他の企業の IT 管理者や Google 社員との情報交換を始めましょう。ぜひご活用ください。 コミュニティ マネージャーの Lauren Gallegos をフォローすると、最新情報を毎週入手できます。

最新情報: 4 月は第 2 四半期の編集カレンダーが公開され、Transformation Gallery への最新の追加情報や新しい GCC のウェルカム チュートリアル（ともに英語）などの情報が追加されました。

また、Kim Wylie によるセキュリティに関するブログシリーズでは、「変化をナビゲートするデジタル リーダーの出現」と「Cloud への道のり: ソーシャルとコラボレーションの成熟度モデル」（ともに英語）についての記事が紹介されました。5 月も、Google Cloud サービスのさらなる活用例をご紹介する予定です。

G Suite 管理者向けの最新情報の動画

管理者向けリソース - トップへ戻る -

最新情報: G Suite 管理者向けの最新情報の動画では、前月にリリースした G Suite 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介しています。これらの動画はいつでもご覧いただけ、共有も可能です。

使い方: YouTube の再生リストをブックマークに登録し、毎月の新着動画をチェックします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。
より良いニュースレターをお届けするために、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。